

| | | | | | | | |
|---|---|-----|------|---------|-----------------------------|-------------------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 健康科学実習(IA203) | | | 担当教員 | 宮原 恵子 | | |
| 展開方法 | 実習 | 単位数 | 1 単位 | 開講年次・時期 | 2 年・後期 | 必修・選択 | 必修 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| 公衆衛生学ⅠおよびⅡで学修した水質基準や環境基準について、測定・評価することにより、実践的な理解を図る。また、健康管理を理解するために、マネジメントサイクルの実践を行う。将来、直面する事態に対して管理栄養士として適切な判断およびマネジメント能力を身に付ける。 | | | | | | | ①④⑥⑩ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | 主な健康指標や環境基準について、その意味や必要性について説明することができる。 マネジメントサイクルに沿った健康管理を実施することで、健康管理を理解できる。 | | | | ・課題への取り組み ・定期試験 ・レポート | 10% 20% 10% | |
| 情報収集、分析力 | 各種保健統計、身体および環境試験の測定結果について、基準値やガイドラインを基に評価することができる。 | | | | ・課題への取り組み ・定期試験 ・レポート | 10% 5% 10% | |
| コミュニケーション力 | グループにて意見交換をしながら、課題解決に取り組むことができる。 | | | | ・課題への取り組み | 10% | |
| 協働・課題解決力 | 各種保健統計、身体および環境試験の測定結果より問題点を挙げ、改善策を導き出すことができる。 | | | | ・課題への取り組み ・定期試験 ・レポート | 10% 5% 10% | |
| 多様性理解力 | | | | | | | |
| 出 席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合 計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・課題への取り組み(40%)：実習で得たデータや各種保健統計より課題を抽出し、その課題解決に向けた実践内容を検討できているか、個人およびグループで準備状況や報告書にて評価する。なお、報告書はフィードバックする。 ・定期試験(30%)：健康指標の算出や健康管理の流れについて理解しているか評価する。 ・レポート(30%)：実習で得たデータについて、適切にまとめ、基準値やガイドラインを基に評価できているか、また、考察は関連図書等を参考に検討できているかを評価する。評価にあたっては、全レポートの提出を必須とする。レポートは個別にフィードバックする。 | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理では、まず、各種保健統計を用いてアセスメントおよび計画の立案を経験し、その後、実習のクラスを対象にアセスメント項目の検討、マネジメントサイクルの計画から改善までを実践する。なお、個人(自身)も同様に実践し、最終的に報告書にまとめる。 ・環境衛生および生体情報では環境や生体に関する項目の測定を行い、得られたデータについてレポートを作成する。 ・グループ内の課題や測定結果の共有はポートフォリオを用いて行う。 <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：「健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康」田中平三編 南江堂(公衆衛生学と同様)、実習書(学科作成)</p> <p>参考書：「管理栄養士 栄養士必携」公益社団法人 日本栄養士会編 第一出版、「国民衛生の動向」一般社団法人厚生労働統計協会編・発行、「公衆衛生学実験・実習」角野猛・須崎尚編 建帛社</p> <p>指定図書：「健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康」田中平三編 南江堂</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・実習内容に関連する教科書の内容について目を通し、実習内容によっては事前準備を行い、実習に臨むこと。 ・実習終了後は関連する法令やガイドライン、統計資料を調べ、結果について考察し、レポートをまとめること。 ・班で行う作業が多いが、自主性を持ち、積極的に実習に取り組むこと。 ・私語や携帯電話の使用は厳禁。無断の途中退室は認めない。 | | | | | | | |

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 |
|----|--------------------|---|--|
| 1 | 健康管理(1) | 健康管理の流れ、統計の基礎 各種保健統計を用いた健康指標の算出 | 予習:マネジメントサイクル 復習:健康指標の算出 |
| 2 | 健康管理(2) | 各種保健統計を用いたアセスメント | 予習:各種保健統計の確認 復習:各種保健統計より考 えられる課題 |
| 3 | 健康管理(3) | 各種保健統計を用いたアセスメントと計画 クラスを対象としたアセスメント項目の検討 | 予習:アセスメント項目 復習:試験結果の評価 |
| 4 | 健康管理(4) 環境衛生(1) | アセスメント項目の調査およびデータ整理(前) 室内の環境試験① | 予習:学校環境衛生基準 復習:試験結果の評価 |
| 5 | 健康管理(5) | アセスメント項目のデータより課題抽出と計画 (個人およびクラスを対象とした計画) | 予習:アセスメント項目の評 価 復習:計画の見直し |
| 6 | 健康管理(6) | 課題解決のための対策の準備と実施 (クラスを対象とした健康教育などの準備と実施) | 予習:健康教育の準備 復習:対策の実践 |
| 7 | 環境衛生(2) | 室内の環境試験② 水道水の水質試験 | 予習:水道水の水質基準 復習:試験結果の評価 |
| 8 | 生体情報(1) | 身体計測(各種項目の測定と評価) | 予習:身体計測の方法 復習:計測結果の評価 |
| 9 | 生体情報(2) | 体力測定(各種項目の測定と評価) | 予習:体力測定の方法 復習:計測結果の評価 |
| 10 | 健康管理(7) | 中間評価(個人およびクラスの健康課題) 課題解決のための対策(健康教育)の準備と実施 | 予習:健康教育の準備 復習:対策の実践 |
| 11 | 環境衛生(3) | 室内の環境試験③ 公共用水の水質試験 | 予習:公共用水の水質基準 復習:計測結果の評価 |
| 12 | 生体情報(3) | 身体活動(身体活動量の把握、実践および評価) 疲労(各種項目の測定と評価) | 予習:身体活動基準 復習:計測結果の評価 |
| 13 | 生体情報(4) | 身体活動(実践および評価、身体活動計画) 疲労(各種項目の測定と評価) | 予習:身体活動の評価 復習:計測結果の評価 |
| 14 | 健康管理(8) | アセスメント項目の調査およびデータ整理(後) | 予習:統計手法 復習:調査結果の評価 |
| 15 | 健康管理(9) | 前後のアセスメント項目のデータより評価と改善について 報告 | 予習:調査結果の考察 復習:報告内容の修正 |
| 16 | 定期試験 | | |